イルカの耳プロジェクト
子どもたちの話を聞いています



子どもの声フォーラム

AI時代に、子どもの声をどう聴くか

2026年12月5日(土)
14:00~16:30
(13:30開場)

参加無料

オンライン
同時配信あり

大人には聞こえない、子どもの声がある。

子どもは、話す相手を選んでいます。
その中に、私たち大人は入っているでしょうか。

安心して話せる人にだけ話す 40%

話さない理由の1位
「話すと大ごとになりそう」 38%

ここでしか聞けない、3つのこと

01 子どもたちが「社会に伝えたい」6つの声

02 子どもは、AIと人で話すことを分けている

03 子どもは、なぜ大学生に心を開くのか

子どもが「助けて」と言える社会へ

― 学生相談の現場から考える、SNSを活用した大学生による小中高生支援への期待 ―

＜登壇者＞木村 真人（大阪国際大学教授／学生部副部長（学生相談担当））

終了後、登壇者、参加希望者による懇親会（会費制500円）があります。

会場	WHCH TOKYO BASE カンファレンスルーム (東京都港区元赤坂1-7-18 元赤坂イースト4階)
アクセス	赤坂見附駅 徒歩7分 / 永田町駅 徒歩11分 / 四ツ谷駅 徒歩12分
オンライン	オンライン同時配信あり

参加申込

取材のお申し込み・最新発表情報は
後日ご案内予定

主催：イルカの耳プロジェクト（学生団体） 共催：（一社）安心ネットづくり促進協議会ほか

イルカの耳プロジェクト

子どもたちの話を聞いています

子どもの声から、よりよい社会をつくる。

話さないのは、悩みがないからじゃない。

周りに合わせて疲れる 58 %。その「もやもや」がどこへ向かうのかは、当日お話しします。

出典：全国高等学校PTA連合会8地区 高校生885名（2026年8～9月）、mimi参加小中高生128名（2026年6～7月）、ピアチャット「ねえ聞いて@イルカの耳」会話テーマ分類

聴講対象：保護者／教職員／自治体・支援機関／企業（CSR担当等）／学生・生徒／メディア

プログラム（予定）

	時間	内容	登壇者
14:00	開会	開会宣言・趣旨説明	
14:00	基調講演	子どもが「助けて」と言える社会へ 学生相談の現場から考える、SNSを活用した大学生による小中高生支援への期待	木村 真人 大阪国際大学教授／学生部副部長（学生相談担当）
14:40	取組説明①	SNS相談、大学生相談の仕組みづくり	鈴川 みやこ コミュ輪 SNS相談統括責任者
14:50	取組説明②	子どもたちが話したくなるAIには何が必要なのか？	戸田 愛子 公認心理師(医学博士/Ph.D.)/臨床AI対話アドバイザー
15:00	取組説明③	こどもの悩みやもやもやについての調査からわかったこと	内川 麻実子 こども家庭庁支援局総務課補佐
15:10	休憩	ー	
15:20	パネルディスカッション	AI時代に、子どもの声をどう聴くか？	木村 真人／千ゆう子／村田 知優／野上 真依子 鈴川 みやこ／戸田 愛子 コーディネーター：曽我 邦彦 （安心ネットづくり促進協議会顧問／元日本PTA会長）
16:30		終了／アンケートにご協力お願いします	
～18:00	懇親会(自由参加)	会費制500円　登壇者・関係者・参加者	

登壇者（予定）



木村 真人
大阪国際大学教授
（学生相談担当）



千 ゆう子
mimi代表
東京大学大学院生

その他の登壇者

鈴川 みやこ	コミュ輪 SNS相談統括責任者
戸田 愛子	公認心理師(医学博士/Ph.D.)/臨床AI対話アドバイザー
村田 知優	イルカの耳研究員（大阪大学）
野上 真依子	イルカの耳研究員（九州大学）
曽我 邦彦	安心ネットづくり促進協議会顧問／元日本PTA会長

「子どもたちの声」をカタチに

イルカは、人には聞こえない超音波で仲間と伝え合います。
子どもの世界にも、大人には聞き取れない声があります。
年の近い大学生との自然な会話なら、本人も気づいていない思いが言葉になります。
学生は、言葉にならない気持ちや背景を察し、小さな変化に早く気づき、深刻化する前に支援へつなぎます。
子どもたちから聴いた気持ちや考え、要望を、大人社会に発信して参ります。



主催：イルカの耳プロジェクト（学生団体）
共催：（一社）安心ネットづくり促進協議会、（一社）コミュニケーションワーカー支援機構、
エースチャイルド株式会社、株式会社シーリック
後援：一般社団法人全国高等学校PTA連合会、公益社団法人日本PTA全国協議会

参加申込みは
QRコードから